

1 日 時 令和7年12月19日（金） 午後2時00分開会

2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室

3 出席者 教育長 関 孝 和  
出席委員 委 員 池 田 由美子  
委 員 速 水 茂 希  
委 員 岸 野 紗生里  
委 員 安 江 麻衣子

4 説明員 教育次長 松 本 孝  
学校教育課長 伊 藤 真由美  
生涯学習課長 北 村 賢 一  
文化財課長 登 坂 和 博  
スポーツ振興課長 手 塚 智 芳  
中央公民館長 佐 藤 剛  
学校教育課課長補佐兼教育総務係長 斎 藤 朋 子  
学校教育課課長補佐兼教育指導係長 福 田 恭 介  
中央公民館公民館係長 安 井 貴 子

5 書 記 学校教育課主査 八木澤 恵 美

6 議 題

(1) 提出議案

議案第34号 日光市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第35号 個人演説会等開催のための施設の設備の程度及び公職の候補者等  
が納付すべき費用額について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

・次会開催予定

① 日時：令和8年1月21日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

② 日時：令和8年2月20日(金)午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

午後2時00分、開会を宣言し、手塚委員欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、池田・速水両委員を指名した。

### 日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第34号 日光市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【中央公民館長】

##### 【説明要旨】

中央公民館の移転に伴い、開館時間の変更及び貸館を時間制にすることによる器具使用料の変更等を行うものであることを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第34号は、原案どおり承認した。

#### 【教育長】

議案第35号 個人演説会等開催のための施設の設備の程度及び公職の候補者等が納付すべき費用額についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【中央公民館長】

##### 【説明要旨】

中央公民館の移転に伴い、個人演説会等開催のための施設の設備の程度について、新たに告示するものであることを説明した。

#### 【教育次長】

議案資料について、設備が整備となってしまっている箇所がある。正しくは設備のため、修正した状態として御審議いただきたい。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第35号は、一部修正した状態で承認した。

### 日程第三 報告事項

#### (1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子について

- ・学校を休みがちな児童生徒調査結果報告について（令和7年10月・11月分）
- ・いじめ調査結果報告について（令和7年10月・11月分）

教育委員会所管・関連する会議、大会、イベント等の情報について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について、意見を求めた。

**【委員】**

11月の総合教育会議の議事録を、早めにいただきたい。

**【学校教育課長】**

担当課である総合政策課へ伝えさせていただく。

**【委員】**

県の研修会において、稼げる教育委員会ということで、宮城県の白石きぼう学園の話を聞いたが、学園の運営にあたっては、寄付を集めていることである。また、先日の下野新聞において、佐野市が部活動の地域移行についてクラウドファンディングを行ったところ、800万円を超える金額が集まると掲載されていた。

日光市でも、例えば体育館の空調や新しい文化会館を作るといった際に、そういう手法を研究していくのもよいのではないか。

**【教育次長】**

研修会には私も参加させていただいて、確かにすごいなと思ったところである。例えに出た体育館の空調の件については、12月の一般質問においても市議よりクラウドファンディングでお金をを集めている事例をいくつか紹介いただいたところで、そういう手法も今後必要になってくると考えている。他市の成功事例については、これから研究していくきたい。

**【委員】**

もう一点、ちょっとスタバケについて、どこかのタイミングで報告をいただきたい。

**【学校教育課長】**

商工課でとりまとめており、期間については今後検討させていただくが、数ヶ月や半年等毎に報告させていただく。

**【教育長】**

かなり多くの方がちょっとスタバケを活用している。他市の教育長からも問い合わせを受けることが多い。

説明報告終了後、追加の意見を求めたが意見はなかった。

## 日程第五 その他

### (1) 前回会議での教育委員からの質問事項への回答について

#### 【教育長】

学校教育課長へ説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

前回会議において、不登校に関する連携体制構築に向けた協議会について委員より御質問をいただき、その際学校教育課の職員は出席していないとの回答を申し上げたが、誤りであった。正しくは指導主事が出席しており、お詫びして訂正する。

協議会の内容については、主催は栃木県教育委員会の教育政策課で、不登校児童生徒の支援をより一層充実させるため、情報交換して相互理解を図るということが趣旨で開催された。参加者は80名を超える、栃木県、各自治体教育委員会担当者、児童福祉担当者等に加え、フリースクールといった民間支援団体等関係者が広く参加されたようである。

今後の方針性については、不登校に関わる民間支援団体を対象に、実際の活動内容のアンケートを実施するということである。なお、回答については非公開となる。

#### 【委員】

以前の会議の中で、民間支援団体等の把握や連携が不足していると感じたが、お互いに情報交換ができればより理解が深まるかと思うので、今後も引き続きお願ひしたい。

### (2) その他

#### 【委員】

学校を休みがちな児童生徒の割合について、インターネットで調べると令和5年度が小学生2.1パーセント、中学生6.7パーセントとなっていたが、令和6年度の数値が分かれば教えていただきたい。

また、市議会で2点質問が出たということだが、いじめの件と、他1点の内容を教えていただきたい。

最後に、日光市として学びの多様化学校を設置するような動きがあるのかどうか教えていただきたい。

#### 【学校教育課課長補佐】

令和6年度の学校を休みがちな児童生徒について、小学生が2.3パーセント、中学生が6.8パーセントである。

#### 【教育長】

出現率は全国的に少しづつ増えていることは間違いない。日光市はほぼ同程度かやや低い程度である。

市議会での質問の件について、郷土愛をどう育てるのかという質問があった。郷土愛は学校教育と家庭教育、地域が全て連携しないとできないことなので、最初に温かい家庭があり、学校で友達をつくり、大人になって帰ってきたときに帰る家があり、会いたい人がいるということが基本ではないかという答弁をさせていただいた。

#### 【学校教育課長】

市としての学びの多様化に対応した学校をということについて、教育委員会は学び

を中心とした様々な居場所を確保しようと考えている。教育支援センターもその一つだが、民間団体への委託や、校内支援センターも設けている状況である。

**【教育長】**

私の方から提案だが、例えば、今注力しているチーム担任制の現場を見ていただくことや、学校運営協議会の会議の様子を見ていただくこと、小杉放菴美術館の企画展に行く等、教育委員の皆様に日光市の目指す姿を見ていただきたいと考えている。来年の会議の中で提案させていただくので、その時までにもしお考えがあればお聞かせいただきたい。

**【学校教育課課長補佐】**

1月19日に今年度チーム担任制の先行実施校に指定している今市小学校で公開授業がある。是非御参加いただきたい。

**(3) 次会開催予定**

**【教育長】**

次会の会議は、令和8年1月21日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、2月の会議は令和8年2月20日、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後3時47分閉会